山口県告示第百二十三号

瀬戸内海環境保全特別措置法(昭和四十八年法律第百十号)第八条第一項の規定に基

山口県卸売市場整備計画の公表(ぶちうまやまぐち推進課)…………………………………………………………四

県

山

○公安委告示

漁管委告示

漁業法第六十七条第一項及び第百三十条第四項の規定による指示………………………・七

交番その他の派出所及び駐在所の名称、位置及び所管区に関する告示の一部改正(三件)

·····六

公共測量の実施の終了(監理課)……………………………………………………………………………………… 県営田代尻地区農村地域防災減災事業計画書の縦覧(農村整備課)……………………六 大規模小売店舗立地法第六条第二項の規定による届出(商政課)……………………………五

県報の正誤(平成十五年十月二十四日山口県公告(六五一))……………………………………………八

報

瀬戸内海環境保全特別措置法第八条第一項の規定に基づく許可申請の概要

目

平成 29年 3 月28日 (火曜日)

づく特定施設の構造等の変更の許可の申請があったので、その概要を次のとおり告示す

づく事前評価に関する事項を記載した書面は、平成二十九年三月二十八日から同年四月 当該特定施設の構造等を変更することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基

の縦覧に供する。 十七日までの間、

山口県環境生活部環境政策課及び光市環境部環境政策課において公衆

氏名又は名称 申請者の氏名又は名称及び住所 平成二十九年三月二十八日

工場又は事業場の名称及び所在地

新日鐵住金ステンレス株式会社

山口県知事

村 岡 嗣 政

東京都千代田区大手町二丁目六番一号

(環境政策課) ………一

名称 光市大字島田三四三四番地 新日鐵住金ステンレス株式会社製造本部光製造所

 \equiv 特定施設の種類

鋼業の用に供する焼入れ施設及び同表第七十四号の特定事業場から排出される水の処 水質汚濁防止法施行令(昭和四十六年政令第百八十八号)別表第一第六十一号の鉄

几 変更しようとする事項の内容

の処理の方法を変更することにより、 特定施設の構造、特定施設の使用の方法及び特定施設から排出される汚水又は廃液 次の表のとおり変更を生ずる

種類、 構造及び使用時間間隔等

_					
1	<u>.</u>	7 - - :	L - 	種類	
	変更前	変更後	変更前	項目	
	(*)		(-)	能	
	(m³五 日 〇	一 五	t / 時九	力	構
1	Æ	平成二九、八	既	年 子 月 月 月 日 定 手	
		平成二九、二七		年予工事完成	
	几 又 ~	平成二九、二八	設)	年予使用開 日定始	造
	"	"	連続	間使 間用 隔時	使
	"	"	二四時間	時 り 日 一 日 当 用 た	用の方
	"	"	し変動 な	概変季 動節 要の的	法

用に供する焼入れ施設及び同表第七十四号の特定事業場から排出される水の処理施設をい 「六一一二」及び「七四」とは、 水質汚濁防止法施行令別表第一第六十一号の鉄鋼業の

Щ

 \Box

県

 $(\overline{\underline{}})$

処理施設による処理前及び処理後の汚水等の汚染状態の値並びに汚水等の量

(定期)

 $(\underline{})$

排
出
さ
-l-
71
6
汚
水
竺
7
NT:
75
染
状
熊
の 値
匹
汉
O,
汚
水
垒
<i>(</i>)
旦
里

The first probability of the first probability pro																	
空処理設備 型 変更前 七・二 五・六 五三 九七 二五三 三五三 二十五三 三二二 二十五三 三二二 二十五三 三二二 二十五三 三二二 二十五三 二十五三 二十二 二十五三 二十二 二十五三 二十五三 二十二 二十五三 二十五三 二十二 二十五三 二十五三二 二十五三二 二十五三二 二十五三二 二十五三二 二十五三二 二十五三二 二十五三二 二十五二二 二十五二二 二十五二二 二十五二二二 二十五二二二 二十五二二二 二十五二二二二二 二十五二二二二二 二十五二二二二二二 二十五二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二		"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	変更後	夕 到		
The control of the		=	"	"	五五	一 四 〇	"	"	"	"	"	"	"	変更前	几)里 发	担言	3
Table Tab		"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	変更後	夕 到 育	里 安	E.
「中央	1	"	"	"	"	"	"	'I'	"	'II	"	"	"	変更前	几 里 行		
四型検 四型検 で更前 七二 五二 二二 二二 二二 二二 二二 二二	_	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	変更後	タ 王 名		
型型	三八八	=,	_	〇 · 五	"	"	Ξ	1110	五五	二七	1111		七 :::	変更前	心 里	理 加	Ē
型型 型 工 工 工 工 工 工 工 工		"	"	"	"	"	"	″		"	"	"	"	変更後) 3	里 色	ij
類 項 目 水素イオン濃度 化学的酸素要求量 浮 遊 物 質 量 鉱油類 窒 素 燐 (mg / ℓ)	七八七	=		一 · 五	二八二	111111	五三	三、四三六	五五三	九七	五三	三~一	二	変更前			
類 項 目 《水素指数》	-		最大		大	常	大	大	常		通常	.大					
水 等 の 汚 染 状態 の 値	日当たり	一汚水等の	mg / ℓ	迷り	mg 化素		mg鉱 /油 ℓ 類	/ 貝	遊	mg 変 要 求量	化学的酸素	素指数)	水 素 イ オ	I	項	類	種
	Í			値	の	態	状	染					\T.				

備考			7	<u>_</u>		種		
(-) の表	-t [Í		<u>-</u> =		類		
の備考は	変更後	変更前	変更後	変更前		項目		
○の表の備考は、この表について準用する。	"	七・1.1	"	七 七	通常	水 素 イ オ		
て準用する。	l)	五 九 { 六	"	八 五 · 六 六 / 六	最大	素イオン濃度	汚	
0	"	111	"	一 五	通常	化学的酸	水	
	"	1	"	九一九・七	最	子的酸素要求量	等	
		七	"		大通	浮	の	
	"	五五		一 九 五 五	常最	遊物	汚	
	"	1110	"	四〇	取大	(mg質 / ℓ)量	染	
	"		"		通	窒	状	
		11111		四四	常最		能	
	"	二八二	"	四 · 八	大	mg / ℓ素	の	
	"	〇 · 五	″	0 : =	通常	DK h	値	
	"	1	"	O· 六	最大	燐%		
	"	一二、三八八	"	一、二六〇	通常	汚水等の一日当たりの量(m)	j (≦) -	
	一六				最	当たりの量		
	一六、一八〇	一五、九二八	五二二	二六〇	大	m	3 1	

Щ

 \Box

(<u>M</u>)

排出水の汚染状態の値及び排出水の量

 非	排		. 1	No	. 2	No	. 3	No.	. 4	No	. 5	No	. 7	No	. 8	No	. 9	No	.10	No
	,		排	1	1	括	ŧ	扫	非	- 持	非	扌	非	1	非	扫	非	±	排	-
K	水		水	7.	k	7	(力	k	7.	k	7.	水	7	k	ス	k	ス	水	;
コ				[]	Ε	1]	Γ]	[⊐	I]	Γ]	Γ		
	項目		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	
水素	水素	通常	t _·	"	"	"	"	"	七	"	"	"	八	"	"	"			六	
オン濃度	水素指数	最	四 八 · 五 ≀ 五	"	+) - =		,		五 八 五 \ 五	"	+) =		八.	"	"	"	八	"	二 八 五 五 \ 五	
一出	-	-	五~五		九 \ 五 一	"	"	"	力. (力.		九 ≀ 五 —	"	五~七				九~五	"	力. (力.	
学的酸素型	・	常	七	"	四 · 五					"	· 六	"		"	"	"	<u> </u>	"	=	
安求量の	マスポープ 大学 記量	大		"	110	"	"	"	一六	"	四・九	″	111	"	"	"	110	"	五	
浮遊	遊	通常	一〇・六	"	11111	"	"	"	一六・九	"		"					四〇	"		
物污	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		六		五.				九		四		四	"	"	"	0			
量	l. =	大	= 0	"	四〇	"	"	"	四〇	"	三六	"	九	"	"	"	四〇	"	五	
	油	最大	四 · 五	"	"	"	"	"	三.八	"	四・四四	"	検出せず	"	"	"	五	"	〇 · 五.	
一 状窒	至	通	-11.						/ /		Н						-11.	,	71.	
심습	ř	常	<u>-</u>	"	六〇	"	"	"	五五	"	五.	"	=	"	"	"	五	"	Ξ	
	是 mg / e 素	最大	六〇	"	 O	"	"	"	六〇	"	110	"	四	"	"	"	<u> </u>	"		
0	ř	通常	0 : =	"	〇 · 四	"	"	"	"	"	0 : 11	"	0.11	"	"	"		"	0.1	
植	大 mg	最大	_ 〇· 六	"	0	"	"	"	0	"	0	"	0	"	"	"			0	
	前	通	六		八				七		六		四	"		"		"	四	_
排出水の一日火	打した - 1	常	五、八四九	"	10,0111	"	1 47, 11140	"	八、一〇〇	"	九三四	"	一七五、二〇〇	″	一七六、八八〇	″		"	11110	
排出水の一日当たりの量(°m)	曼 红	最大	七、八四一	"	一一、三四五	一 一 、 四 四	一八、五〇七	一八、六六三	二四、六四九	"	11, 001	"	0 1七五、1100	"	〇 一七八、五六〇	"	- 四川〇、〇〇〇	"	0 11110	

平成2	29年 3	3 月28	3日	火曜	日		山		П		県		報		(5	定期])		第 28	847	号	
までおいる。まで、おります。	同市小瀬 同字三〇六の一地先までら 岩国市小瀬字沖原二八二の三地先か	区	道路の区域		道路の種類・県道	平成二十九年三月二十八日	において一般の縦覧に供する。	その関係図面は、平成二十九年三月二十八日から一	路の区域を変更する。 道路法(昭和二十七年法律第百八十号)	山口県告示第百二十五号		山口県農林水産部ぶちうまやまぐち推進課	二縦覧の場所	従覧こ共する山コ県印売市場整備計画書のとおり一 山口県卸売市場整備計画の内容		平成二十九年三月二十八日	る。	年度を目標年度とする山口県卸売市場整備計画を定めたので、到売市場法(昭和四十六年法律第三十五号)第六条第一項の			=	変更後
地先か	先まで出たか			緑		八日	る。 。	十九年二	律 第 百 八	75		つまやぉ	5 1 対	売打湯医画の内容		八日		県卸売 料油産	. <i>'</i> 5			"
新	旧	旧 新 別						月二十	十号			らぐち性	有	請計				巾場整				
最最 広狭	最最 広狭	製金地						八日	第十二			進課	- E	書り				備計画				"
三 二八 ○○	八四 ·· 六四	ーの幅員				山 口 III		から一月間	八条第一項				\(\frac{1}{4}\)	おり	山 口 II			[を定めた				"
二九三・八		(メートル) 長				口県知事村		Ш	第十八条第一項の規定により、						口県知事村			#			-	"
		備				岡		建築部							岡			要領に				
りょう整備工事修工事に伴う橋田川川山改		考				政		口県土木建築部道路整備課	次のとおり道						嗣政			次の要領により公表す			_	"
岩県国大	路線		平	におい	その	路の供用な	山口呾		同先から	岩及 記 国びつ	ま同なで市り	おおります。おおります。	ラ岩及 国び 市	に 同か岩 ボ市ら 国 小 市			路	路道路				"
[大竹線道 同岩	名		成二十九	て一般の	関係図面		示告示 鱼		瀬字沖原	小頼字源	瀬字源次	小瀬 写字	小瀬字沖	瀬字沖原	質之書		の区	路線名 選路の種類				
同市小瀬字源次郎 追三九岩国市小瀬字源次郎 追三九	供		平成二十九年三月二十八日	て一般の縦覧に供する。	その関係図面は、平成二十九年	を開始する。(昭和二十七年法律第百	口県告示第百二十六号		二八二の三地	次郎迫三九六	郎迫三九六の	岩国市小瀬字墨屋堂四八〇の三地先 同市小瀬 同字二八二の三地先まで	原三〇六の一	三〇六の一地	置き回し			北中山岩国線				"
郎追三八二九二	用開		八日	30	一十九年一	全律第百日	号		先まで	へ の 一 地)一地先	光まで	地先か	先まで	間			国線				"

弗百二十六号

新

最最 広狭

二〇六・六〇

八三・四 完了による。

最最 広狭

二 四八 ·· 五〇

二五八・四

(重用) (重用) 域 場道岩国大竹線

和二十七年法律第百八十号)第十八条第二項の規定により、次のとおり道

面は、平成二十九年三月二十八日から一月間山口県土木建築部道路整備課 の縦覧に供する。

山口県知事 村 尚 嗣 政

路 線 名
供用開
始の
X
間
供用開始の期日

の完了による。

旧新別

(メートル)敷 地の 幅 員

(メートル) 延 長

備

考

旧

最最 広狭

五四 •••

一五四・〇

最最 広狭

八四 ·· 〇四

一九三・五 | (重用) | 県道岩国大竹線

線北県 中 山岩 国道 路 線 名 同市小瀬字源次郎迫三九六の一地先まで岩国市小瀬字墨屋堂四八〇の三地先から 供 用 開 始 0) \overline{X} 間 三平 十成 供用開始の期日 一日二十九年三月

山口県告示第百二十七号

の位置を次のとおり指定した。 建築基準法(昭和二十五年法律第二百一号)第四十二条第一項第五号に規定する道路

その関係図面は、 周南土木建築事務所に備え付けて縦覧に供する。

平成二十九年三月二十八日

山口県知事 村 岡 嗣 政

下松市清瀬町一丁目二六七の一七	地名及び番地
四・〇四〇・〇平成二九、一七	(メートル)(メートル) 指定年月日

山口県告示第百二十八号

山

口

市黄金町地区市街地再開発組合の設立を次のとおり認可した。 都市再開発法 (昭和四十四年法律第三十八号)第十一条第一項の規定に基づき、 山口

平成二十九年三月二十八日

山口県知事 村 岡 嗣

政

市街地再開発組合の名称

山口市黄金町地区市街地再開発組合

施行地区

山口市黄金町の一部

事務所の所在地 山口市道場門前一丁目一番一八号

几

設立認可の年月日

平成二十九年三月二十八日

五. 事業施行期間

平成二十九年三月二十八日から平成三十二年六月三十日まで

六 事業年度

日から同月三十一日まで) 毎年四月一日から翌年三月三十一日 (初年度にあっては、平成二十九年三月二十八

七 公告の方法

事務所の掲示場に掲示する。

個別利用区内の宅地への権利変換の申出をすることができる期限

八

個別利用区は、定めない。

九

平成二十九年四月二十六日まで 権利変換を希望しない旨の申出をすることができる期限



(八九) 大規模小売店舗立地法第六条第二項の規定による届出

とおり大規模小売店舗に関する届出に係る事項の変更の届出がありました。 大規模小売店舗立地法 (平成十年法律第九十一号) 第六条第二項の規定により、 次の

振興課において公衆の縦覧に供します。 日から同年七月二十八日までの間、山口県商工労働部商政課及び岩国市産業振興部商工 当該届出及び経済産業省令で定める事項を記載した書類は、平成二十九年三月二十八

平成二十九年三月二十八日

山口県知事 村 岡 嗣

政

大規模小売店舗の名称及び所在地

称 ゆめタウン南岩国

所在地 岩国市南岩国町一丁目二〇番三〇号

届出者の名称及び住所並びに代表者の氏名

株式会社ジュンテンドー 株式会社イズミ 広島市東区二葉の里三丁目三番一号

島根県益田市下本郷町二〇六の五

三 変更に係る事項の概要

所 山西 泰明

代表者の氏名

飯塚 正

駐車場の自動車の出入口の数 駐車場の収容台数 変 更 に 係 る 事 項 一四箇所 九 一〇台 変 更 前 一六箇所 八二五台 変 更 後 \equiv

几 届出年月日

変更年月日 平成二十九年三月十日

平成二十九年十一月十一日

五.

大規模小売店舗の名称及び所在地 ゆめタウン南岩国

所在地 岩国市南岩国町一丁目二〇番三〇号

届出者の名称及び住所並びに代表者の氏名

株式会社イズミ

株式会社ジュンテンドー 島根県益田市下本郷町二〇六の五 広島市東区二葉の里三丁目三番一号

三 変更に係る事項 駐輪場の位置

匹 平成二十九年三月十日 届出年月日

変更年月日

五.

平成二十九年十一月十一日

(九〇) 県営田代尻地区農村地域防災減災事業計画書の縦覧

五項の規定により、 田代尻地区農村地域防災減災事業を行うための土地改良事業計画を定めたので、同条第 土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第八十七条第一項の規定により、県営 次のとおり縦覧に供します。

平成二十九年三月二十八日

山口県知事 村 岡 嗣 政

縦覧に供する書類

県営田代尻地区農村地域防災減災事業計画書の写し

縦覧の期間

平成二十九年三月二十九日から同年四月十七日まで

縦覧の場所

山口県農林水産部農村整備課

(九一)公共測量の実施の終了

通知がありました。 第二項の規定により、 測量法(昭和二十四年法律第百八十八号)第三十九条において準用する同法第十四条 山口地方法務局長から次のとおり公共測量の実施を終了した旨の

平成二十九年三月二十八日

山口県知事 村 岡

嗣

政

作業の種類

公共測量(基準点測量)

所

代表者の氏名

山西

泰明

飯塚

正

作業の地域

長門市仙崎及び東深川

三 作業の期間

平成二十八年十一月七日から平成二十九年二月二十八日まで



山口県公安委員会告示第九号

山口県公安委員会告示第六十三号)の一部を次のように改正する。 交番その他の派出所及び駐在所の名称、位置及び所管区に関する告示 (昭和四十一年

平成二十九年三月二十八日

Щ \square 県 公 安 委 員 会

坊一丁目、大内千坊二丁目、大内千坊三丁目、大内千坊四丁目、大内千坊五丁目、 千坊六丁目、大内中央一丁目、大内中央二丁目」を加え、同表山口県山陽小野田警察署 表山口県山口警察署の部大内交番の項所管区の欄中「大内姫山台」の下に「、大内千 大内

報

関警察署の部幡生交番の項所管区の欄中「西大坪町」の下に「、幡生新町」を加える。中「波瀬一丁目」の下に「、大学通二丁目(須恵東に限る。)」を加え、同表山口県下浜警察官駐在所の所管区を除く。)」を加え、同部西の浜警察官駐在所の項所管区の欄の部セメント町交番の項所管区の欄中「大学通一丁目」の下に「、大学通二丁目(西の

山口県公安委員会告示第十号

から施行する。 山口県公安委員会告示第六十三号)の一部を次のように改正し、平成二十九年四月一日山口県公安委員会告示第六十三号)の一部を次のように改正し、平成二十九年四月一日交番その他の派出所及び駐在所の名称、位置及び所管区に関する告示(昭和四十一年

平成二十九年三月二十八日

山口県公安委員会

次のように加える。大字日前、大字土居、大字油良、大字浮島」を加え、同部余田警察官連絡所の項の次に大字日前、大字土居、大字油良、大字浮島」を加え、同部余田警察官連絡所の項の次に「、表山口県柳井警察署の部周防大島幹部交番の項所管区の欄中「大字椋野」の下に「、

官連絡所 日前 大島町大字 大島郡周防	連絡所 木島町大字 大島郡周防

察官連絡所の項を削る。

「京山口県市大警察署の部久保警補、」を加え、同部日良居警察官駐在所の項を削り、同表山口県下松警察署の部久保警管区の欄中「のうち」の下に「大字和田、大字内入、大字小泊、大字和佐、大字神管区の欄中「のうち」の下に「大字和田、大字内入、大字小泊、大字和佐、大字神

山

口

山口県内水面漁場管理委員会告示第一号

の規定により、次のとおり指示する。 漁業法(昭和二十四年法律第二百六十七号)第六十七条第一項及び第百三十条第四項

平成二十九年三月二十八日

山口県内水面漁場管理委員会

会 長 酒 井 治 己

指示の内容

放流し、又は遺棄してはならない。い(まごい及びにしきごいをいう。)を当該水域の外に持ち出し、かつ、他の水域にい(まごい及びにしきごいをいう。)を当該水域の外に持ち出し、かつ、他の水域にコイヘルペスウイルス病のまん延を防止するため、次に掲げる水域においては、こ

- メト メテル、正の区域内の水域のうち、平田川水系に係る河川及びこれと連接して一体を下松市の区域内の水域のうち、平田川水系に係る河川及びこれと連接して一体を
- を成す水面
 防府市大字西浦字沖本土手附二七九八の一地先の遊水池及びこれと連接して一体
- 上流の区間を除く。)及びこれと連接して一体を成す水面佐波川水系に係る河川(佐波川ダム堰堤から上流の区間及び島地川ダム堰堤から
- くゴ 防府市大字佐野字開作一七八五の一地先の遊水池及びこれと連接して一体を成す
- 河内川水系に係る河川及びこれと連接して一体を成す水面
- 南若川水系に係る河川及びこれと連接して一体を成す水面
- 流の区間を除く。)及びこれと連接して一体を成す水面(出)、椹野川水系に係る河川(一の坂ダム堰堤から上流の区間及び荒谷ダム堰堤から上
- 🌣 井関川水系に係る河川及びこれと連接して一体を成す水面
- ら上流の区間を除く。)及びこれと連接して一体を成す水面
 、 「厚東川水系に係る河川(厚東川ダム堰堤から上流の区間及び宇部丸山ダム堰堤か
- 栗野川水系に係る河川及びこれと連接して一体を成す水面
- から上流の区間を除く。)及びこれと連接して一体を成す水面間、有宗ダム堰堤から上流の区間、大坊ダム堰堤から上流の区間及び阿惣ダム堰堤出、掛淵川水系に係る河川(畑ダム堰堤から上流の区間、狩音ダム堰堤から上流の区
- 阿武川水系に係る河川及びこれと連接して一体を成す水面

指示の有効期間

平成二十九年四月一日から平成三十年三月三十一日まで

株式会社ローズ	有限会社靴のパリー	社メガネの田中チェーン株式会
" 0	<i>1</i> / °	"
// 0	1,0	"

八